

芦屋市からのお知らせ

芦屋市ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>

防災・安全

住宅耐震化建替工事・防災ベッド設置 に対する補助申請の受け付け開始

住宅耐震化建替工事費・防災ベッド設置費の一部補助を行います。

- 補助金額 建替工事 定額100万円
防災ベッド設置 定額10万円
- 対象住宅 簡易耐震診断等で、安全性が低いと診断された一戸建て住宅
※その他条件有り
- 予定件数 建替工事 5件
防災ベッド設置 3件
※申し込みが予定件数を上回った場合は抽選となります。(抽選予定日：8月19日)
- 申し込み 8月1日～10日(土・日を除く)に、申請書と必要書類を下記窓口へ持参※申請書は窓口または市ホームページからもダウンロードできます
- 問い合わせ 建築指導課 ☎38-2114/☎38-2164

犯罪被害にあわれたかたへ

突然の被害や事故に遭うと、精神的に不安定になったり、正しい判断ができなくなる場合があります。このようなこころの悩みを相談してみませんか？

「公益社団法人ひょうご被害者支援センター」では、電話相談を行っています。

- 【電話相談】 ひょうご被害者支援センター
☎078-367-7833
火曜・水曜・金曜・土曜(祝日除く)
午前10時～午後4時

犯罪被害者支援条例

犯罪被害により1カ月以上の重傷病を負われたかた等への支援を行っています。

- 支援内容 支援金の支給/日常生活の支援(家事援助ヘルパーの利用料、一時保育サービスの利用料、家賃、転居費用の助成等)
- 問い合わせ 建設総務課 ☎38-2480

くらし

今夏の節電にご協力を

今夏も引き続き節電にご協力をお願いします。ただし、高齢者のかたやお子さんのいるご家庭などでは、こまめな水分補給に努めるなど、熱中症等に十分に気をつけて、無理のない範囲での取り組みをお願いします。

【エアコンの節電ポイント】

冷房時の室温は28℃を目安に適温を保ちましょう
カーテンで窓からの熱の出入りを防ぎましょう
2週間に1度はフィルターの掃除をしましょう
室外機の吹出口に物を置かないようにしましょう

- 問い合わせ 環境課 ☎38-2051

警察官に感謝状を贈呈

問い合わせ 市長室 ☎38-2000

私たちが安心して暮らせる明るいまちづくりのため、市民生活の安全や市内の治安維持などに功績のあった警察官に対し、7月8日(金)の「第66回社会を明るくする運動・市民の集い」において、山中市長から感謝状を贈呈いたしました。

二上 誠 氏(刑事課強行盗犯係係長)

芦屋警察署に平成26年3月に着任、刑事課強行盗犯係で係長として迅速的確な捜査活動により、数多くの凶悪事件、窃盗事件を検挙解決するなど、安全・安心な街づくりに大きく貢献されている。



羽山 政広 氏(地域課地域第一係自動車警ら班)

芦屋警察署に平成23年9月に着任、パトカー乗務員として市内をパトロールし各種の犯罪や交通事故等の未然防止に努めるとともに、数多くの事件を検挙し、安全・安心な街づくりに寄与されている。



福祉

平成28年度 戦没者遺児による慰霊友好親善事業

毎年、(財)日本遺族会では、戦没者遺児を対象として、戦没されたかたの旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、その地域の住民と友好親善を図ることを目的に、慰霊友好親善事業を実施しています。

- 日時&内容 日時等詳細は、日本遺族会事務局(☎03-3261-5521)へお問い合わせください
- 申し込み 兵庫県遺族会(☎078-341-2952)へ
- 問い合わせ 社会福祉課管理係 ☎38-2153

まちづくり

下水道施設見学会 武庫川下流浄化センター

- 日時 7月31日(日)午前10時～(約2時間)〈小雨決行〉
- 会場 武庫川下流浄化センター(尼崎市平左衛門町18-4)
- 対象 100人(小学生以下は保護者同伴)
- 申し込み 土・日・祝日除く午前9時～午後5時に、武庫川下流浄化センター(☎06-6419-4231)または下記へ
- 問い合わせ 兵庫東スラッジセンター ☎06-6411-8356(土・日・祝日除く/午前9時～午後5時)

熱中症にご注意ください！

問い合わせ 消防本部救急課 ☎32-2345

熱中症とは温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調整機能が働かなくなる状態です。症状としては、体温上昇・めまい・体のだるさなどで、進行するとけいれんや意識障害を引き起こす恐れがあります。熱中症は予防できます。一人ひとりが心がけ、暑い夏を乗り切りましょう！

■熱中症予防のポイント

- 部屋の温度をこまめに確認し、エアコンや扇風機を上手に利用する
- のどが渇かなくても水分補給を行う
- 外出の際は、涼しい服装で日よけ対策をして、適度な休憩を心がける
- 日ごろから栄養バランスの良い食事と体力づくりを実践する

■こんな時はすぐに救急車を！

- 自分で水を飲めない、体が動かない
- 意識がない
- 全身のけいれんを起こしている

このような症状になったり、発見されたかたは、ためらわずに119番して下さい。



■熱中症の応急手当て

- 涼しい場所へ移動し、衣服を緩めて安静にする
- エアコンをつけたり、扇風機やうちわなどで風を当てて体を冷やす
- 首や脇の下、太もものつけ根を氷などで冷やす
- 飲めるようであれば、水分を少しずつ繰り返し与える



■子どもと高齢者は熱中症になりやすいため、特にご注意ください。

●子ども

体温調整機能がまだまだ未熟です。また、身長が低いと地面の照り返しにより、大人より高い温度にさらされやすい状況にあります。

●高齢者

加齢により、体温を下げるための体の反応が鈍くなっています。のどの渇きや暑さを感じにくく、汗をかきにくいいため、自覚がないのに熱中症になる危険があります。

